

# アクアバランサー基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

## 作物名

水田稲作

## 使用例 <10 a (1 反)あたり>

時期	使用量	希釈率	使用方法
育苗時	1L	約 500 倍	ビニールカバーをはがした後、3 日おきに 2~3 回たっぷり散布（※期待する効果/ 根張り強化）
田植え後	10L	原液	約1週間後に、水の取入れ口に注ぐ （※期待する効果/ 病気予防 根張り強化 樹勢強化） （※期待する効果/ 有用微生物とその生成物質供給）
定植後	9L	原液	幼穂形成期 7~10 日前に水の取入れ口に注ぐ （※期待する効果/ 樹勢強化）

\*使用量、回数、希釈率は一般参考値です

## 使用上の注意

- ☆ 除草剤使用の散布後、7~10 日後にアクアバランサーを水の取入れ口に注いでください
- 使用量の表記の無い場合、通常の灌水量にあわせて散布してください

## 使用効果

アクアバランサー使用生産者から以下の効果が報告されています（※あくまでも個人の感想です）

- ・ 収量増加
- ・ 食味値の向上
- ・ 倒伏軽減

- ・ 多様な微生物・酵素・アミノ酸・ミネラルの力で痩せた土壌が元気になる好影響をあたえます。
- **完熟堆肥とアクアバランサーを併用して散布**すると、微生物群がさらに活性化してよりよい効果が期待できます。

\* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。

製造元 有限会社 クローネ  
大分県 大分市 皆春 166-5